第３部　平成25年度業務状況

第１章　職員の任免

職員の任用は、成績主義に基づき、受験成績、人事評価又はその他の能力の実証により行うものとされている。職員の採用は、公開平等の競争試験によることを基本とし、これによらない場合は選考によっている。このような中、近年においては、公務の活性化のために、公務外での専門的な実務経験等を有する人材を中途採用する制度や任期付職員制度など各種の制度が整備され、公正な能力実証や採用手続の下、多様な民間人材が公務に選考採用されている。

また、採用後の昇任、転任などの任用についても、この成績主義の原則に基づき、公正に実施されなければならず、人事評価の評価結果を任免に活用すべく、各府省に対して、制度の趣旨にのっとった運用を行うよう指導を行っている。さらに、人材育成、公務の活性化等の観点から、官民人事交流制度についても、公正を確保しつつ、円滑な推進のための環境整備を進めている。

一方、公務能率の維持及び公務の適正な運営の確保の観点から、職員が一定の事由に該当する場合には、その意に反して免職、降任、休職等の処分を行うことができることとされている。

第１節　人材確保

行政課題の複雑・高度化、グローバル化等が進む中で、高い資質と使命感を有する多様で有為な人材を確保していくことは、重要な課題である。国家公務員採用試験の応募者数は、民間企業における雇用情勢の変化に伴う変動はあるものの、少子化や公務を取り巻く厳しい状況の下、中長期的には減少傾向となっている。

このような中、公務の仕事の魅力、求める具体的な人材像などを発信するとともに、新たな人材供給源を開拓するために、各府省との連携・協力の下、積極的な人材確保・啓発活動を行った。

表１－１　平成25年度人材確保・啓発活動の実施状況

人材確保活動	実施回数	参加者数等	内容等
総合職中央省庁セミナー	7地区12回	約2,700人	総合職試験の受験を志望する者を対象とした、本府省参加の合同業務説明会（公務の魅力や各府省が期待する人材をPR）
一般職各府省合同業務説明会	7地区8回	約4,400人	一般職試験の受験を志望する者を対象とした、本府省参加の合同業務説明会（公務の魅力や各府省が期待する人材をPR）
女性のための国家公務員セミナー	11都市11回	約900人	女性職員との意見交換等
霞が関OPENゼミ	2回	延べ約13,600人（12月　約7,500人／3月　約6,100人）	各本府省を訪問し、職場の雰囲気を直に感じ取ってもらうための体験型イベント
管区OPENゼミ	12都市12回	延べ　約11,200人	各府省の管区機関を訪問し、職場の雰囲気を直に感じ取ってもらうための体験型イベント
法科大学院生対象中央省庁合同業務説明会	2回	延べ　約500人	各府省が公務の魅力や各府省の業務内容を説明

啓発活動	実施回数	参加者数等	内容等
霞が関特別講演	前期（春）　5大学18回 後期（秋）　4大学13回	延べ　約4,000人	大学生、大学院生に対し、各府省の第一線の行政官を講師とする行政課題についての講演
公務研究セミナー	5地区7回	約2,400人	国家公務員の仕事の魅力や勤務実態等に理解を深めてもらうための合同業務説明会
公共政策大学院生法科大学院生霞が関インターンシップ	公共政策大学院　夏1回 法科大学院　夏1回 冬1回	8大学院42人12府省 6大学院21人11府省 5大学院16人　7府省	公共政策大学院生及び法科大学院生が各府省の業務を体験（2週間程度）
女性のためのトークライブ	1大学3回	延べ　約170人	女性に対し、女性行政官を講師とする行政課題についての講演

その他	実施回数	参加者数等	内容等
大学主催就職ガイダンス	76大学　86回	約4,300人	各大学の就職ガイダンスに人事院職員を派遣
メールマガジンの配信	月2回（14日・28日）	登録者数 約7,200人	国家公務員試験、採用関連情報を幅広く発信

総合職中央省庁セミナー・一般職各府省合同業務説明会

人事院は、公務に関心のある学生等を対象とした合同業務説明会（総合職中央省庁セミナー・一般職各府省合同業務説明会）を全国の主要都市において実施した。教室形式により、各府省ごとに業務内容をはじめ、求める人材や仕事の魅力などについて説明した。また、各会場に相談コーナーを設け、試験制度の内容、試験方法、出題分野など参加者からの質問に対応した。

イベントの参加者からは、「説明内容がとても良く、非常に有意義だった。」「多くの省庁の説明が聞け、大変参考になった。」などの声が寄せられた。

霞が関ＯＰＥＮゼミ

人事院は、各府省と連携し、大学生・大学院生などを対象に霞が関ＯＰＥＮゼミを実施した。霞が関ＯＰＥＮゼミは、各府省を開放して庁舎内を見学したり、職員の話を直接聞く機会を提供することを通じて、公務への理解と関心を深めてもらうことなどを目的としている。

	第１回目	第２回目
実施月日	平成25年12月12日（木）・13日（金）	平成26年３月６日（木）・７日（金）
参加府省	27機関	27機関
参加者数	延べ7,496人	延べ6,064人

霞が関特別講演

人事院は、公共政策大学院等と共催で、大学生・大学院生などを対象に霞が関特別講演を実施した。霞が関特別講演は、重要な行政課題について各府省の最前線で活躍する行政官が説明を行い、公務への理解と関心を深めてもらうことなどを目的としている。

前　期（春）	東京大学公共政策大学院、一橋大学、名古屋大学、京都大学公共政策大学院、九州大学で、計18回38講演実施。参加者数：延べ1,993人
後　期（秋）	北海道大学、東北大学、東京大学、早稲田大学で、計13回28講演実施。参加者数：延べ2,031人